

部活動における新型コロナウイルス感染症の影響について

担当 有働 秀樹

1. はじめに

今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に伴い、中学校総合体育大会（夏季大会）の県・九州・全国大会が中止となった。その中止の決定を受け、県内の各都市でも大会が中止された。代替大会が実施された競技もあったが、全競技で実施されたわけではなく、中学校3年間の集大成となる大会がなくなったことで、選手達には大きな心理的影響を与えることとなった。この新型コロナウイルス感染症の影響は、今後も続くことが予想されており、「新しい生活様式」が日常生活に定着する等、私たちの生活も大きく変化している。そこで今回は、部活動における感染予防対策についての研究を行った。

2. 大会実施における基本的な考え方

令和2年7月に（公財）日本中学校体育連盟から示された、各大会を実施するに当たってのガイドラインは、文部科学省から通達された「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～『学校の新しい生活様式』～」やスポーツ庁からの通達である「社会体育施設の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」、公益財団法人日本スポーツ協会・公益財団法人日本障がい者スポーツ協会等から出されている「スポーツイベント再開に向けた感染予防ガイドライン」をもとに作成されており、基本的な考え方としては、①感染源を絶つ、②感染防止の3つの基本の徹底（身体的距離の確保・マスクの着用・手洗い等の徹底）、③3つの「密」（密閉空間、密集場所、密接場面）の回避、④安全な活動環境等の確保の4つの条件を示したものである。

3. 具体的な感染予防対策について

中体連代替大会や、熊本県中学校駅伝大会等、コロナ禍の中で行われた各大会の実施要項には（公財）日本中学校体育連盟のガイドラインに示された感染予防のための基本的な考え方もとに、具体的な感染対策が示されている。代表的なものとしては、「風邪の症状（発熱、咳、鼻汁、咽頭痛、頭痛等）がある選手や引率者等は、大会に参加させないことを徹底する」、「各校の選手及び引率者等の2週間分の体調を記録した体調記録表の記録を求め、健康管理を徹底する」、「大会当日受付時等に、学校同行者体調記録表を提出させ、選手や引率者等の体調を確認するとともに、大会中、選手や引率者等に体調不良がある場合は、大会本部に申し出るよう場内アナウンス等で確認を促す」、「引率者等は、集合時、更衣後、ウォーミングアップ終了後、試合前後、昼食時、解散時等、こまめに、選手の体調不良の有無を確認する声かけを行うなど、集合時から解散時まで選手の健康観察を徹底する」、「原則開会式等は実施しない」等である。つまり、大会を実施するためには選手だけでなく、大会関係者や来場者に至るまでの感染予防対策の徹底が求められた。

4. おわりに

新型コロナウイルス感染症は私たちの生活に未曾有の事態をもたらし、今回示したように、スポーツ活動においてもさまざまなスポーツイベント、競技大会が延期・中止となった。また、日常の運動・スポーツ活動へも大きな影響を及ぼしており、生徒の体力低下等も懸念されている。新型コロナウイルス感染症については、ワクチン接種が開始される等の明るいニュースもあるが、まだまだ先が見通せないところも多く、今後も完全にウイルスに感染しないという状況をつくることはできないと言われている。そのような状況を踏まえ、私達学校関係者は、生徒の健康を第一に考えながら、生徒が努力できる環境・努力の成果を発揮できる場をつくっていくことが重要となる。そのような環境をつくる一助として、部活動を含めた「withコロナ時代の運動・スポーツ活動の在り方」について、今後も研究を深め、現状と対策を明らかにしていきたい。